

令和6年度第1回 横浜市倉田コミュニティハウス委員会兼利用者会議議事録

日 時 : 令和6年6月1日(土) 午前10時～午前11時10分
場 所 : 倉田コミュニティハウス 多目的ホール
出席者 : 出席委員10名(兼務1名含む)、欠席委員2名
他 戸塚区役所地域振興課 2名
指定管理者 開く会 1名
倉田コミュニティハウス 館長、書記
出席者 計15名

議事内容

1. 開会の言葉・・・藤井委員長

各委員自己紹介

2. 令和5年度(2023年度)事業報告について…別紙資料にて木谷館長説明

質疑応答

- Q. 今朝、倉田コミュニティハウスのホームページを見てきた。子育て・高齢者などの事業報告を聞いてきたが、ホームページに載っていた3つの事業である貸館事業、交流事業、自主事業が混在しているのではないか。(糀田会長)
- A. 自主事業からサークル化して貸館事業につなげていくなど、3つの事業を切り離して説明することは難しい。(木谷館長)
- Q. 横浜市の他のコミュニティハウスと交流はあるのか。(糀田会長)
- A. 特に交流があるわけではないが、困ったことがあった時には、近隣の地区センターなどに相談している。(木谷館長)
- コロナ禍を経て、自主事業の中身が変化してきている。他の施設と新しい情報を交換をしたり、情報の発信など行っていけばよいのではないか。(糀田会長)
- Q. 横浜市立小学校・中学校の体育館空調設置事業が行われている。令和4年度には豊田中学校の体育館に空調装置が設置された。そういった区の動向などを把握しているか。(糀田会長)
- A. わかってはいない。ただ、行政とは何かあるたびに相談はしている。レンジフードの交換の件や、憩いの間の畳部分を床に変更する際も、行政に相談をしている。(木谷館長)
- Q. メンテナンスで困っているならば、行政にお願いして頑張ってもらわないと。(糀田会長)
- A. 施設の小さな修繕に関しては、運営費からお願いしている。ただし、高額な修繕に関しては市のほうから給付したりしている。木谷館長は色々なことを行政のほうに相談してくれている。(山本課長)

- Q. 南町内会では、宿題のない春休みに子どもたちが遊べる会を設けようと思っている。上倉田学習ルームではボランティアをどのように募っているのか。また明治学院大学の学生にボランティアをお願いできたらと思っている。明治学院大学に検討してもらいたい。(藤井会長)
- A. ボランティアセンターのほうにご相談いただければ対応する。(岩本管理部長)
- Q. サークル体験会開催のところに記載してある英語教室は自主活動なのか。(藤井会長)
- A. 10年前に中学1年からの英語をもう一度学んでみようという講座を開催し、今も活発に活動している。(木谷館長)
- グリーンパークでは子ども向けに英会話教室(異文化交流)を開催し、国際留学生に教えてもらっている。毎年自治会の予算を取って行っている。今は参加者が2名になり残念ながら中断している。明治学院大学が近くにあるので、大学の留学生と積極的に交流していくべきではないか。(糎田会長)
3. 令和6年度(2024年度)事業計画について…別紙資料にて木谷館長説明
- 今年度も、高齢者・子育て事業に力を入れていく。交流事業(コンサート・文化祭)にも力を入れていきたい。
- ここには載せていないが、倉田小学校との交流もある。昨年度、倉田小学校の2年生、5年生、個別級の生徒たちが近くの施設について学ぶという授業でコミュニティハウスに来館した。来館した2年生の発表会の場に招待され、参加してきた。

質疑応答

- Q. 高齢者事業に力を入れているとのことだが、どういうところに重点をおいているか。どんな切り口を考えているか。(宮下会長)
- A. 現在、65歳から75歳の就業率が上がっている。75歳以上も上がっている。働く高齢者が増えている。コミュニティハウスは高齢者事業に特化した施設ではないので、上倉田・下倉田地域ケアプラザに協力してもらい、専門的な観点から、また趣味の切り口(例えば麻雀など)から事業を計画している。どういう切り口でやるべきか、こちらもご相談したいくらいだ。(木谷館長)
- Q. 高齢者が増えてはいるが、老人会のことを知らない人が増えている。戸塚区の老人クラブが88団体から83団体に減っている。北部寿会はコミュニティハウスで、第1・3水曜日にサロンを開いているが、新しい人が増えず縮小している。地域で仲間を集める手立てがなかなかない。(吉住会長)
- A. グリーンパークでは毎週金曜日、麻雀教室を開いていて、女性が中心でお茶やお菓子を食べながら行っている。都内で、若い女性がカフェを営み麻雀も出来る施設もある。お茶とお菓子を用意して1人でも楽しめますよ。お茶だけでも良いですよというようにしてみたらどうか。(糎田会長)
- 麻雀講座は、多目的ホールに8卓並べ講師が3人見てくれている。第1弾のころは、講義をしてもらい、役や点の教え方など丁寧に教えてもらった。現在第3弾。50代から80代30名ほどが楽しんでいる。第2弾では、第1弾で外れた人を全て受け入れた。コミュニティハウスに来ていない高齢者は何をしているのだろうか。(木谷館長)

- Q. 新しい人にどうアプローチしていくべきか。ほかのコミュニティハウスはどうしているか
情報交換したらどうか。(宮下会長)
- A. 事業を開催した際は必ず、新しい人がどれくらいいるかは追跡している。常連と言われて
いる人たちがどれくらい来ているかも把握している。(木谷館長)
- 1度事業に参加するとずっと参加してくれる。初めの一步がなかなか難しい。(宮下会長)
- 開館から5年間は、コミュニティハウスの新派を作って、口コミでコミュニティハウスの
情報を広げてもらおうとした。(木谷館長)
- 友達が友達を呼んで、コミュニティハウスは楽しいなと思ってほしい。(宮下会長)
- Q. 通信は配布されているのか。(糺田会長)
- A. 上倉田・下倉田連合に回覧、掲示やホームページに載せ広報をしている。(木谷館長)

☆令和5年度(2023年度)開催事業、青少年指導員との共催『ミニ門松作り』、『上倉田学習
ルーム』、家庭防災員との共催『家庭で出来る減災講座』の様子を写真で紹介

☆令和5年度(2023年度)開催事業『ビデオ音楽祭』令和6年度(2024年度)開催事業
『キーボード講座発表会』『気軽にコンサート vol.442 手4手6手連弾の電子ピアノ
コンサート』の様子を映像で紹介

5. 閉会の言葉…糺田副委員長

色々なご意見をいただきありがとうございます。行政の方たちには引続き頑張っ
てもらい、我々も1年頑張っていきましょう。

以上